

『両手いっぱい Maya』 ～駒ヶ根ポカラ友好ソング～

ナマステ！

長野県駒ヶ根市はネパールにあるポカラ市と国際協力友好都市協定を結んでいます。この MV はネパールが大好きな学生5人組で【Armful of Maya】というユニットを組んで作成しました。
なかなか会えない今だからこそ、歌で Maya = 愛情を伝えます！

この曲は、2011 年にネパール・ポカラ市の元市長クリシュナ・タパさんが中心となって友好都市協定 10 周年を記念して作った、ポカラ市と駒ヶ根市の友好ソングが元になっています。今回は特別に駒ヶ根市に何かと縁がある元 H2O の赤塩正樹さんが音楽を担当して下さいました！

2020 年は世界中の人々にとって思いもよらない年になりました。
新型コロナウイルスという大きな災いが全世界を襲い、そのあまりの感染力に人々は戸惑い、
そして今までの生活が当たり前にならなくなってしまいました。
学校は休校に、イベントもちろん中止、毎日マスクが必須、気軽に行きたいところへ行けない、
会いたい人にも会えない…

この 1 年間で沢山のことが変わりました。

そんな中で駒ヶ根市で毎年行われていたネパールとの交流事業も中止に。
そこで、ネパールに関わりのある学生と大人が混ざってごちゃまぜチームを結成。
コロナ禍だからこそ私たちにできることは何かを考え、アイデアを出し、話し合いを重ねて、
「音楽の力で、離れていても都市間の絆を深める」をテーマに、
ポカラ駒ヶ根友好ソングで、動画を作ろう！と決めました。

それぞれが得意分野の技能や人脈や持ち物を惜しげなく使い・共有することで、
アイデアを形にして、この動画を完成させました。

特に、赤塩さんは編曲から楽曲作成・録音・編集と音楽全般を、
北澤ユウジさんは動画撮影から編集まで動画全般を担当していただき、
素晴らしい MV に仕上げてくださいました。
支えてくださった多くの方々、愉快的なチームメイトに心からの感謝を捧げます。

そしてこの動画を見てくださった人々、全ての方々がこのコロナ禍を乗り越え、
新たな時代へ羽ばたけるよう、心からお祈りしています。